

選択科目(地理歴史) 地理

〈出題内容・形式・配点〉* 出題内容、問題番号、配点は2月2日実施分です。

内容	形式	配点	試験時間
I 地形図の読図	記述	33	80分
II 東南アジア	記述	34	
III 世界の主要河川と人間活動	記述	33	
合計		100	

【出題の基本方針】

教科書や地図帳、副教材や統計に掲載された基本的事項を正確に理解している受験生が、高得点を得られるように配慮したほか、単なる暗記ではなく、地図をもとに、事象を全体の中で把握したり考えたりする学力を推し量れるように工夫した。また、地形図を含む読図能力、系統的な事項の理解力、地誌的な総合的解釈力を問うものをバランスよく配置した。さらに時事的問題や社会的関心が高まっている問題に対しても、地理と関連づけた思考力が日頃から養われているかを問う設問を各所に配置した。

【学習のポイント】

- ・ 学習の基本は、教科書の内容を正確に理解することである。その際に、地図帳で国・平野・山地・河川・都市などの位置を必ず確認することを習慣にしてほしい。また、自然環境と農業との関係や地形・天然資源などの分布を関連させながら、独自の主題図を作成するような取り組みが、地理的事象の理解をいっそう深めることになるだろう。
- ・ 地理の理解には、系統的な考察と地誌的な考察の双方が重要である。特定地域の問題を系統的に、逆にまた系統的な地理的事象を特定の地域を通じて考えてみてほしい。
- ・ 地形図を読む力をつけるためには、縮尺・等高線などの基本的事項を理解したうえで、身近な地域の調査に地形図を活用し、実際の地域が地形図ではどのように表現されているかを把握することが重要である。
- ・ 解答にあたっては、用語を正確に書くことが不可欠である。また、説明問題では主語・述語の関係を考えながら、要点を正確にまとめられるように努めてほしい。